

2003 年 四季 折々 神戸・関東で 思いつくまま

2003 年 四季 折々 神戸・関東で 思いつくまま

1. 桜散策 Walk 東京・千葉界隈 2003. 4 月 2003.4.12.
東京 千鳥が淵 ・谷中から上野・千葉佐倉
2. 「構造改革論」と「景気浮揚対策論」に日本人思考の二面性を重ねて 2003.5.20.
3. バラ満開の季節 八千代市緑ヶ丘 京成バラ園 2003.5.11.
4. 京都 お盆法要の説法『戦中派の責任としての最近の世相について』 2003.8.17.
5. 2003 夏 京都 点描 一無手勝流 京都案内ー 2003.8.20.
6. 関西で 秋たけなわ 2003 年秋 2003.10.20.
7. 「西アフリカ おはなし村」の贈り物 2003.11.25.



1. 桜散策 Walk 東京・千葉界限 2003. 4月

東京 千鳥が淵 ・谷中から上野・千葉佐倉



4月6日晴天の日曜日。絶好の花見日和。 私の知らなかった東京桜の名所 walk
昨年は三春の滝桜見に行ったのですが、今年は家内と二人 オノポリサンで 一日東京の桜を楽しみました。

「谷中から上野への江戸下町の桜見物」常磐沿線に住む京都仲間が企画してくれた会に参加のため家内も上京。東京の桜はお堀端・隅田川そして上野の山が一番と家内に講釈。

昔 何度かフェアモンドホテルに泊まって何の気なしに見ていた千鳥が淵・北の丸公園の桜。

お堀に散る桜の美しさ 是非行こうということになって、
午後の「谷中から上野への花見物」の会にかこつけ 午前中に千鳥が淵の花見に出かけました。

皇居をぐるっと回って 千鳥が淵から虎ノ門へ 人の多さにびっくりしましたが、千鳥が淵の桜 やっぱり美しい。
また 青空にそびえる丸の内のビル群を背景に咲く皇居北の丸公園の桜 東京でないと見られぬ美しい景色。絵葉書にしたいような美しさでした。



千鳥が淵



丸の内ビル群背景に 北の丸公園



北の丸公園

2003.4.6.



午後 五組の夫婦で散策 江戸情緒を楽しむ谷中界隈の花見も面白かったですよ。谷中は JR 線沿いに日暮里から上野まで徳川慶喜の墓もある墓地が続く、江戸情緒の残る古い下町。

桜の名所は墓地と学校とダムというそうですが、桜並木が続く墓場にぎっしりゴザを敷き詰め他人の墓標の前墓場でみんな宴会を繰り広げている光景にはビックリ。

東京では 上野・隅田川堤といい、桜の下での宴会まだ 残っているのですね・・・

もっとも 私たちの桜散策も花を見て一句・・・??? との趣旨でしたが花よりダンゴ。

谷中から根津まで谷中の霊園の桜を見て根津の「笹乃雪」で江戸の豆富(豆腐)料理を味わって鶯谷でカラオケで盛り上がりました。

谷中墓地の花見散策 2003.4.6.

翌週 家内と千葉県 縄文の埴輪展をやっている佐倉 歴史民俗博物館に出かけました。

歴史民俗博物館は佐倉市の中心の小高い丘陵にある佐倉城址にあるのですが、思いもかけず色々の種類の桜が満開。また、佐倉と八街の境にある丘陵地にある川村美術館にも初めて訪れました。

シャガールやルノアールなどの絵や横山大観ほかの日本画そしてヘンリームーアの彫刻などよく整備された森の中にある美術館。一度行きたかったところ。

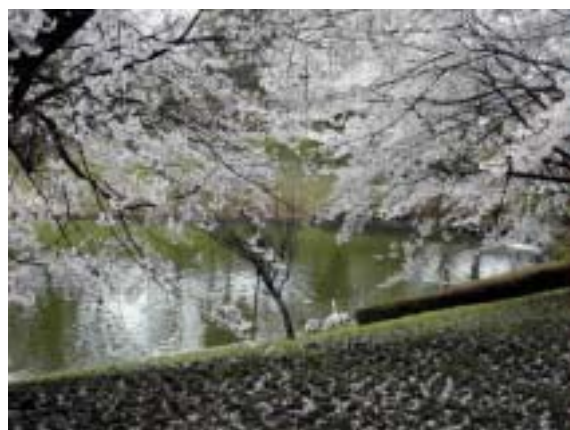
この川村美術館の広い庭園も桜満開。

すばらしいものでした。

絵もさることながら 夕霧にけむる緑の森をバックに満開の桜を眺めながらのゆったりしたティータイム疲れを忘れます。是非 お勧めです。



佐倉城址 2003.4.12



佐倉 川村美術館で 2003.4.12.

桜見物 色々な楽しみ方ありますが、今年もまた 新鮮な桜見物 good でした。

お茶でも飲みながら 芽吹きの木々の緑をバックに散り行く桜をゆっくりと眺めるのが 今が一番。

あとは ハナより ダンゴです。

2. 「構造改革論」と「景気浮揚対策論」に日本人思考の二面性を重ねて



2003.5.20. sesou.htm by M. Nakanishi

景気はあいかわらず。 政府・金融政策も どの話が正論なのか 全く判らず。

5.19. 銀行にまたもや公的資金投入を報じている。 倒産予防措置という。 なにか 割り切れず。

銀行が潰れたたわけではないから リーダーに責任はない。 予防措置に責任はないと・・・・・・。

次々ただの金注込めば もう潰れる銀行はなく 銀行にとってはハッピーな資本増強。

今までのビジネス履歴がおかしかったから 資金注入必要になったのでは?????

おかしくした連中が 頭の切り替えもせず 良くなるとでも 言うのか・・・判らぬ論議である。

家計もそないしてほしいものです。 でも 他人を当てにせず 頑張らねば・・・・・・。

誰がその付けを払うのか・・・・もう みんな十分 低金利で付けを払わされていると思うのですが・・・

「貯金王国 日本」といわれて久しいが、この「日本の個人貯蓄」も数年で米国・西欧と逆転するらしい。

「銀行残って 個人は借金生活」の現実が近づいているという。 考えるのか怖くなる。

「構造改革論」と「景気浮揚対策論」

「要は一步でも改善できる道であれば やるのが筋 批判していても始まらず」と。

政府サイドも政策転換を求めるサイドも言っていることはおなじ。

どっちが本当に改善の道なのか???? 誤った方向ならば 早く改善の道に戻さねば・・・・・・

「今までも 要素多くて 結果です。 これでも良くなった方?????? やってみなければ 判らない。」と

心地よい言葉だけでは どうにもならず。 個人の生活が脅かされ始めている。

どうでもいいから 早く期限を切って具体的な論証を見せよ・・・・と言いたいのだが。 実感がほしい。

一面的な対策は限界・・・・そろそろ 検証にはいらないと・・・・

自分たちのルールだけで 物事を行うことが世の中氾濫。 自分が納得したって仕方ないだろう。

一時 説明責任の言葉が流行ったが、全く持って 正面きって 説明責任を果たしていない。

日本人の二面性 「たてまえ と本音」「論理と感情」

このことをよく承知している人達が 「たてまえ」論には「本音」論 「論理」には「感情」論のすり替え

それぞれ 相手の対極論でやり返し、全くのすり替え術が 議論として また 説明責任をはたしたと・・・・

そんな風に見えてならない。

日本人の二面性を利用したはぐらかし論議とサロンの内輪だけの正当性が わからないだけにカッコええと写る

政治も 社会も ヒジネスも なにか 本当に狭い日本になってゆくような気がしてならない。

2003.5.20. 柏 Mutsu Nakanishi

3. バラ 満開の季節 八千代市緑ヶ丘 京成バラ園 2003.5.11.



5 月半ばから 6 月初旬にかけては バラの季節。
神戸自宅の庭でも淡いピンクのバラが庭の垣根いっぱいに咲いています。
美祢の K さんに教えてもらった淡いピンクの小ぶりのつるバラと僕の趣味の深紅の大輪のバラと。
やっと我が家のバラもイメージどおりに咲いたこととで今年のバラは格別。家内などは「だんなが帰ってくる前にとか何とか・・・」って友達をせっせと招いて花自慢しています

【 千葉県八千代市 八千代緑ヶ丘 京成バラ園 】



美祢のお向かいの K さんの庭には数十を越える種類のバラを庭一杯に育てているバラ博士。
家内の花の指南役なんですが「東京京成バラ園の素晴らしさやバラへの思い」など聞き、気軽に「柏へ帰ったら見に行ったらバラの写真 CD にして送る」と安請け合い。
柏へ帰った週末 早速行って来ました。
京成バラ園についてはよく 知りませんでしたが、その規模の大きさにビックリ。
僕の会社の工場のある習志野市の隣八千代市の丘陵地にあり、大規模な花壇・温室とともに丘陵の斜面に色々な種類のバラがイングリッシュ ガーデン風に植えられているのいい。





バラ園というと 品種ごとにそれこそ「前にならえ・・・」
で整然とブロックごとに植えられている事が多いのですが、
自然公園の中で 散歩を楽しみながら花を楽しめるのがいい。

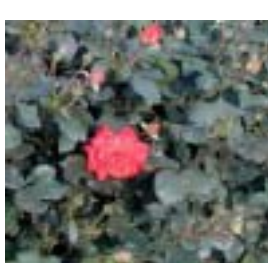
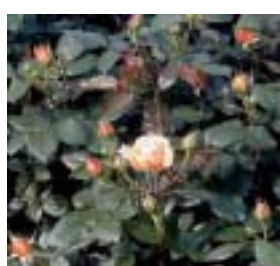
また、叱られそうですが、バラといったらイメージ貧困で、
みんな高島屋の包装紙の感覚でしたが 大小 色 形そして
バラの木々の種類 大きさなど 本当に千差万別 奥の深い
こと こんなに沢山種類あるのかとびっくり。

ほくは あのエルトンジョンのバラをさがしていました。
もう少し早く知ってれば・・・と思いますが、疲れ休めの昼
寝にいい場所です。



京成バラ園 ちょっと早かったのですがバラの数々【1】

2005.5.10.



京成バラ園 ちょっと早かったのですがバラの数々【2】



4. 『戦中派の責任としての最近の世相について』

kyoubon.htm by M. Nakanishi 2003. 8. 20.

お盆の 15 日 16 日 義母 義兄の初盆 京都で初盆の法要に行ってきました。

天気は相変わらず。 世相も厳しく・・・・・・・・

TVでは 台風・地震の後遺症 そして テロ・戦争 新たにニューヨーク・カナダの大停電を伝えています。

お寺でのお盆法要の説法の中で語られた「最近の軽薄風潮」について感銘を受けた。



最近 戦争を知らない世代が過半数を占める時代になって、国際貢献として自衛隊をイラクに派遣することが、議論されている。

「軍隊は国を守る」と言うが、今までの歴史の中で「国を守った例はない」

「軍隊組織は自分達の上官を守り、組織を守る」のであって「国を守る」というのは「まやかしである。」

司馬遼太郎が同じ事を従軍経験から次のように書き記している

『 戦争を逃れる多数の人達が道にあふれる中、前線への進軍を前にして

軍隊のとり行動は「民衆を踏み潰して 進軍せよ」との命令がくだされると 』

今 自衛隊がイラクへ派遣され、若い命が落とす危険についての論議で

「日本の国内にいたって 交通事故で落とす命あり。 その数に比べれば・・・・」と

ニヤッと笑いながら話す政府高官の傲慢さ

「 今の罪深い我々シャバの世界では仏の慈悲に満ちた仏の世界を絶対に実現できぬ。

シャバの世界では実現できない事を知りつつも、仏にすがり、助けを借りて

仏の世界の実現を目指す生き方が仏教だ

」

今 「開き直り」の傲慢さが世界を益々おかしくしているでないか・・・・・・・・

問題解決には キリスト教・イスラム教など「一神教」の持つ「唯一絶対」の論理に対して

仏教・原始宗教などの持つ「多神教」の「共存」の論理をいかに共生させるか・・・・・・・・

粘り強く探ることで 道は開けるだろう。

京都 某お寺でのお盆法要 説法より

唯一核に頼らねばならぬアメリカの世界観の中にある今 戦争の解決には宗教的論理にからむ共通土俵が生まれない限りが解決の道なし。 21 世紀繁栄の克服すべき最大課題。

「日本の国内にいたって 交通事故で落とす命あり。 その数に比べれば イラクで・・・・」とニヤッと笑いながら話す政府高官の傲慢さには腹が立つ。日本では リーダーによるこのような軽薄な議論すり替え傲慢さがいたるところで 時代の流れをせき止めているのではないか。

西アフリカ おはなし村の村長 江口氏もいう

『西アフリカ の人たちに 貧困と病気・疫病の問いかけ議論を第一にするのはやめよう』

そうすると そこに西アフリカの人達の自由でおおらかな豊かな世界がみえてくる。

あの 西アフリカのジャンベのリズムと音楽の力強さと魅力が・・・・・

今 西アフリカの人達と接していて 西アフリカのジャンベのリズムと音楽の力強さと魅力・・・・・

西アフリカの人達の持つ自由でおおらかな豊かな世界に惹かれている。

久しぶりに聞いた思い切った宗教人の戦争論議や、体制に動じない確信にびっくりするとともに同感・同感とうなずいていました。

丁度同時テロのあった時期にアメリカへ行くことになって アメリカについて もやもやしていた時期だったので それぞれの人の言が強く心にひびきました。

そんな気持の中で、義母・義兄を送り、離れた地にいる息子や娘達に思いをはせながら、京都五山の送り火を見送って 神戸にかえってきました。

By Mutsu Nakanishi 2003.8.17. 京都から帰って

5. 2003 夏 京都 点描 一無手勝流 京都案内一

2003kyoto.htm by M. Nakanishi 2003.8.20.

1. 京都御所 外人案内に格好のスポット
2. 京都の教会を訪ねて 日本聖公会 聖アグネス教会・聖マリア教会
3. 下鴨神社 糺の森・京都鯖街道

この夏 京都を案内したり、ゆっくり Walk したりの機会があり、随分京都も変わったと思いました。何かの参考になれば・・・。

5.1. 京都御所 外国人案内の格好のスポット



外国人案内の格好のスポットです

京都御所は外人に限り、パスポート持参し、御所の事務所で簡単な書類にその場で記入すれば、 10 時 14 時の 2 回 宮内庁の英語ガイド付で丁寧に約 1 時間御所を案内してくれる。

英文のきっちりしたパンフもあり、パレスに行ったと大喜び。約 1 時間 手をはなして、こっちも一息つけます。

〔手続きは 30 分前

日本人は同行できないが、
きっちり案内してくれる。
カイドとして一人は ok 〕



● お勧めスポット



西陣織会館



金閣寺



竜安寺



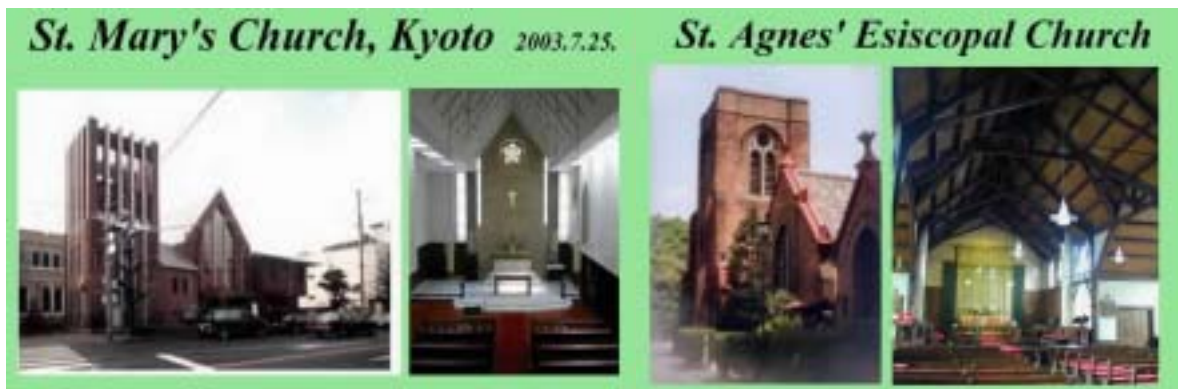
平安神宮界限



先斗町・花見小路 四条通界限

5.2 京都の教会を訪ねて

日本聖公会〔英国国教会教会〕 聖マリア教会・聖アグネス教会



京都にはお寺や寺院ばかりでなく、美しい教会がある。扉があいていれば、聖堂の中に入れてもらえる。聖堂の中に入って、静かに黙想するのも気持ちのよいひとときで、僕は各地の WALK で教会を見つけると訪れるのを楽しみにしている。

私か結婚式を挙げた岡崎の聖マリア教会 聖堂は建替えられていましたが、雰囲気かわらず。

また、御所の西の平安女学院に並んで建つ聖アグネス教会 聞いてはいたのですが、その内部のシンプルな美しさにビックリ。



日本聖公会 聖アグネス教会 2003.7.25.

また、不意に訪れた両教会で約 30 年ぶりに司祭様とその娘さんにお会いできました。昔のことがまるでつい最近のようでとても楽しいひとときでした。

5.3. 下鴨神社 糺の森・京都鯖街道 2003.8.15.

鴨川の合流点 出町のはしのたもとで 鯖街道口の石碑を見つけ、緑の美しい鯖街道 花折峠を越え 京都北山と比良に挟まれた街道筋を朽木宿・熊川宿を抜けて若狭 小浜まで行ってきました。

2 時間程の近さにビックリでした。

また、下鴨神社に早朝出かけましたが、散歩する人達 ランニングをする人達など 早起きの多さにビックリ。でも 早朝の林の中の散歩はきもちのよいものでした。

京都 鯖街道 若狭街道 京都ー途中・花折峠越ー朽木ー小浜



坊村の家並と街道沿いを北に流れる安曇川



熊川宿の街並み

下鴨神社 糺の森



6. 関西で 秋たけなわ 2003 年秋 2003.10.20.

2003aki.htm



関西に帰って あっという間に3ヶ月。紅葉の便りが聞かれるこの頃 元気に関西の秋を楽しんでいます。コスモス咲く大阪民族博物館「西アフリカ おはなし村」へ元気に通っています。西アフリカのむかしばなしをせッセと聞いています。西アフリカ ジャンベの太鼓は根っからの楽器音痴に加えギッチョで右左わからず、まったくうまくなりません。でも いろんな人と会って 愉快的時間を楽しんでいます。是非一度 こんな空気吸うのをお勧め・・・・・・・・・・。

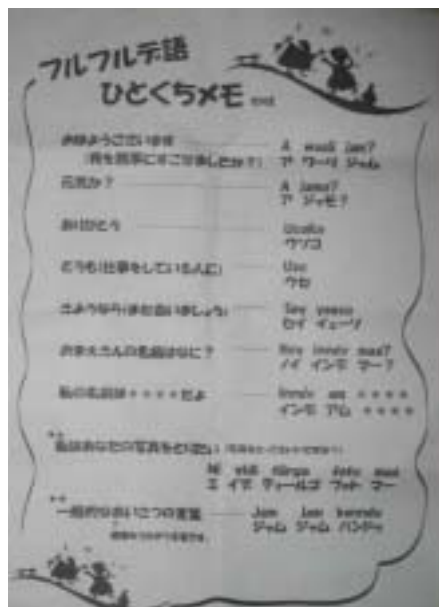
アメリカ行きで実現できなかった山口美祢にも帰り、久しぶりに美祢の仲間にも会えました。風来坊の気安さ。豪華な屋台と激しい練り合わせで有名な播州の祭りをまじかで見てきました。多くの若者たちに担がれ 激しく舞う獅子の行列「大塩天満宮 毛獅子舞・道中舞」若者たちの激しいエネルギーに会社で見てきたものとは違ったイメージを感じました。その熱気伝えられませんが、写真お見せします。

6.1. 大阪万博公園 民族博物館 「お話し村」



10月の初めにアフリカからやってきて「西アフリカの昔話」を江口村長とコンビで毎日語っていたアフリカのスタッフ3人が帰りました。また、新しい企画も加わり、新しい陣容での入館者といっしょになった「西アフリカの昔話会」や「ジャンベの太鼓」の演奏が毎日続いています。





「言葉もわからず、食事を含め全く習慣の違う人たちと本当にコミュニケーションできるのか」と心配でしたが、「ハーイ ↑□ ドーモ ドーモ」と「アジャモ ウソコ (お元気? ありがとう)」の二つの言葉だけで 後は身振りで何とか通じ合っています。

ウンマハーニさん ジュレイハさんに代わり プロフェッサ サイブ氏と江口村長のコンビのおはなし会も始まり、バブバウの木前の大日よけでの「西アフリカ むかしばなし」もまた、違った味わいのお話が楽しめます。

本当に「異文化」というか いい経験です。

11月24日まで 是非 お寄りください。



2003.10.14

サイブ先生登場

6.2. 山口県美祿にも出かけました

気になっていた美祿にも 10 月初めに行って来ました。

5 月以来ほっていた美祿の家の庭は背丈ほどに雑草が茂っていました。肥料も水も貰わず、やせた土地でたくましいものです。

実りの秋 防長路はたわわに実った田圃の畦の輪郭を真っ赤な彼岸花が縁取る美しい風景を期待したのですが、ちょっと遅くてもう終わり。かわって コスモスがいたところで美しい景色を作っていました。

また 久しぶりに世話になっている人たちにも会えました。

街で顔見知りの顔にであうと本当になつかしく、うれしくなります。

山口 吉敷に陶房を構えられた萩焼の田中先生 今年も日本伝統工芸展(第 50 回)に新しい技法で挑戦され見事入選。私は失礼したのですが、家内が訪ねて歓談。

味わいのある先生の萩焼 うれしいかぎり。大阪の巡回展で再会のつもり。



いろんな人の顔が浮かぶのですか、中々訪ねられずですが、みんな元気なのに一安心。山口へ行く楽しみ。一度機会あれば みんな一緒に騒ぎたいものです。

ついでながら 長門湯本温泉の音信川沿いの共同温泉恩湯・礼湯が改装されて綺麗になり、しかも 140 円のまま。お湯はまったりした独特の源泉の湯。街も金子みすずのブームもあってすごくよくなりました

6.3. 播州の秋祭り 姫路市 浜の宮・大塩 10.15.



10 月 稲刈りが終わると播州の街々では秋祭り。

豪華な屋台がでて、獅子舞が舞う。一度その熱気の中に入りたくて

15 日 姫路白浜の宮 松原八幡宮の秋祭り(灘のけんか祭りとして 豪華な屋台の練り合わせで有名) と 姫路大塩 大塩天満宮秋祭りでの獅子舞行列「毛獅子の道中舞」を見てきました。

お祭りといえば大勢の男達に囲まれた屋台や地車が練り歩く姿に体が熱くなって。

また、大塩の獅子舞があんなに迫力があるなど思いもよらず、その迫力屋台以上でした。

写真だけです・・・祭りはやっぱり現場に行かないと迫力伝わらずです。



灘のけんか祭り 宮入
姫路市浜の宮 松原八幡宮
2003.10.15.



大塩天満宮 毛獅子舞
宮入「道中舞」
姫路市 大塩天満宮
2003.10.15



播州の秋祭り 2003

姫路市 浜の宮・大塩 10.15.

大阪にいた娘家族が札幌に行ってしまったので我が家もさびしくなりましたが、IP 電話にして、札幌の孫との会話を楽しんでいます。家内はせっせとまた宅急便 色んなものを積めています。私も便乗・・・・・・
ホームページ改訂終わったら、札幌へ訪ねる予定です。

時間は自由になったのですが、逆に何にもしない内に時間が過ぎていくような気分今まで経験したことなし。ぼくはズボラで スケジュール決めて 動くこと一番苦手なのですが、やっぱり スケジュール立てておかないと・・・・・・と思いだした今日この頃です。



最後になりましたが、「和鉄の道 たたら探訪」も続ける予定。

長野県佐久町 H 氏より、詳細な「佐久町 茂来山たたら遺跡」の学術調査報告書を送っていただき、自分の歩いた道の写真と報告書を見比べながら、往時の繁栄をイメージしています。本当に有難う御座います。

毎度ながら 勝手な事ばかりで申し訳ありませんが お許しください。懲りずに よろしく。

関西・神戸に来られた時には ご一報ください。

2003.10.20. 神戸にて Mutsu Nakanishi

7. 「西アフリカ おはなし村」の贈り物 usoko.htm 2003.11.25. by M. Nakanishi

「アジャモ (お元気ですか)」 「ウソコ (ありがとう)」
民博「西アフリカ おはなし村」閉幕



スタッフの一員として参加させてもらった国立民族博物館 2003 年特別展「西アフリカ おはなし村」が 11 月 25 日無事終了した。長いようで短かった 4 ヶ月でした。この展覧会に来られた方 約 38 千人の盛況。

文字のない「語り」の世界の展示でどうなるかと心配しましたが、多くのボランティアの人たちに支えられ、ボランティアの人たちも喜びの中で幕を閉じることができました。

多くの人たちとの交流の場として「語りあい 伝えあい ふれあい」を合言葉に出演者・来館者一体となって今までとはちょっと違った空間だったと感じています。新聞やテレビは「現代人が忘れてきた癒しの空間」と書き立てましたが・・・・・・。

ふれあい」を合言葉に出演者・来館者一体となっ

「本当に言葉もしっかり通じ合えない仲間や色々な人たちがいっしょになって・・・」

『「アジャモ (お元気ですか)」「ウソコ(ありがとう)」』
今日おぼえたての片言しかしらぬ不安が多いスタートでしたが、日が経つにつれ、心配も吹っ飛びました。結局は「こころ」「気持」の問題ですね。

「ちいさなおはなし ちいさなおはなし 西アフリカのあるところに・・・・」で「語り」が始まる。

静かな暗い桟敷に座って 耳をそばだてないと聞き取れない「語り」の世界。
そこで語られる不思議な西アフリカ フルベの世界。



アフリカや日本の語りべの「語り」と「おはなし」のリズムの中に知らず知らず引き込まれて、その心地よさに酔いしれる。

知らず知らずのうちに神経を集中して聞く「語りの世界の不思議」である。

また、「語り」が「静」のリズムとするとジャンベの太鼓合奏は「動」のリズム。

全く手を触れたことのない人達が 10 分後にはもう太鼓を叩くことに酔い、それを見ている人たちも自然と体が動き出し、手を叩いて踊り出す。

もう 10 分後には会場にいる人たちみんながもう夢中。初めてジャンベを叩く人もそこで合奏を見ている人も・・・体を動かし、手を叩いて・・・自然な一体感が広がって行く。

ジャンベの魅力すごいです。これがアフリカと感じました。

何か不完全燃焼が常態の現代にあって いっときであっても夢中になれて その後に広がる爽快感、「全く違った自分をそこに見る」不思議。

本当に「語りと音楽」を通した「静と動」のリズムが自分達の無意識・心の奥底を引っ張り出し、我を忘れて合奏にもう夢中。



西アフリカ おはなし村 ふれあいコンサート みんなで踊って 2003.11.16.

現代人の忘れ物を届けてくれた「西アフリカ おはなし村」からの贈り物。

自然の中で語られる「むかしばなし」の会や一人静かに歩く山里の爽快感 そして スポーツに集中した後の爽快感などにも通じるのかも知れない。

でも 人と人とが一気に通じ合える空間なんてそうそうないと思っています。

新たな活力を得て、今後も こんな空間が展開されれば・・・と思っています。

西アフリカ おはなし村 子どもまつり 2003.11.22.



このおはなし村では沢山のボランティアの人たちが 住人の中心。

「おはなし」「音楽・ジャンベ」「こども会」そして訪れる人たちの案内と。。。

村そのものの運営に参画

ボランティアというと何か補助的な印象と意識が強い中、活動の中心としてそれぞれが 相互にコラボレートして ほんとに素晴らしい力が出て 楽しい空間が出来ていたと今 感じています。

「語りあい 伝えあい ふれあい」「アジャモ(お元気ですか)」「ウソコ(ありがとう)」

一歩踏み込めば それぞれが「生き生き」と・・・その第一歩の認識の重要性

ボランティアグループの広がりの中で、で未来作りに参加できれば・・・と思っています

「西アフリカ おはなし村」が終わって 「西アフリカ おはなし村」の贈り物をそんな風に考えています。

「語りあい 伝えあい ふれあい」 「アジャモ(お元気ですか)」「ウソコ(ありがとう)」

2003.11.25. 民博「西アフリカ おはなし村」を閉幕

神戸への帰路 阪急電車に揺られながら

by M. Nakanishi

2003 年 四季 折々 神戸・関東で 思いつくまま

【完】